

炭竹会

未来に繋ぐ「半歩先行く里山暮らし」

近くの森が竹に負け、竹林ばかりになるのを止めるため、昔のような森づくり活動を60代の団塊の世代の仲間たちの手で行おうと、ボランティア活動の会を結成しました。

この会の活動は、竹などで荒れた暗い森から竹や雑木などの除伐による森林整備を行い、日差しが入る明るい森づくり活動に努めています。

また、この森づくり活動を喜びの森づくり活動にするため、除伐などにより搬出された竹材や雑木などの木材を森からの恵み（副産物）として、炭窯で炭焼きを行い里山暮らしを望む方々を招いたイベントで煮炊きをするときの炭として利用するなど、地域の活性化にも繋げています。



除伐作業前の集合写真



進入路の下草刈り中



雑木を伐倒する道具のメンテナンス



雑木の伐倒と採材



森の恵み（副産物：竹材・雑木）の搬出



木炭の原料を炭窯に入れる長さに調整



木炭の原料を薪割機で薪割中



木炭の原料を窯に投入



木炭の原料を窯に投入



窯の火入れ・温度調節



イベントでの竹材利用

（活動場所：氷見市上田「勝福寺の里山」）